

化学産業をサーキュラー・エコノミーに転換

基調講演・パネルディスカッション

2023年10月3日（火）

侯 召民 教授

理化学研究所環境資源科学研究センター 副センター長、先進機能触媒研究グループ
グループディレクター

インプット タイトル

持続可能な循環型社会の実現に資する資源循環型物質の研究開発

発表要旨

プラスチックに代表される新規化学物質は、すでに地球の限界値を超えていると報告されている。資源循環型物質をはじめとした化学技術研究の貢献が期待されている。理化学研究所環境資源科学研究センターでは、多様な生物機能と化学機能の理解を礎として、植物科学、ケミカルバイオロジー、触媒化学、バイオマス工学等の融合により、環境負荷の少ないバイオ資源や化学資源等の創生と利活用に資する研究を推進している。本講演では、環境資源の安定的確保や循環的な利活用に向けた水の電気分解による水素製造や様々な環境条件下で自己修復可能な機能性高分子の創製など、触媒化学を中心とした資源循環型物質の化学研究について紹介する。